

宣 言

平成二十三年三月十一日未曾有の大震災に見舞われた。東日本大震災である。本市における被害は極めて甚大であり、物的被害はもとより精神的なダメージが大きく、その心の回復、復興へ向けての意識高揚の取り組みが強く求められている。

仙台市小学校長会は、これまで小学校教育の重要性を深く認識し、その充実と発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。今般、このような現状に直面し、なお一層本会の使命を果たすべく、組織をあげて取り組んでいかねばならない。

大震災を乗り越え、大震災から多くを学んだ私たちは、保護者や地域住民との連携を超えた「絆」で強く結ばれ、「地域とともに立ち上がる学校」を目指し、力強い一步を踏み出した。学校再開後の杜の都仙台に響く子どもたちの歓声は、復興に向けた希望の光であり、創造ある復興に向けての道しるべである。私たちは、市内すべての小学校が、子どもたちの笑顔で埋め尽くされることを期して、今こそ創意工夫ある教育活動の構築に取り組んでいく。まさに、く復興へ！学校の力結集！くである。

こうした中であって本会は、仙台市教育委員会との緊密な連携のもと、校長会という組織を通して、相互に力を合わせ、創意と活力に満ちた学校経営を実現することによって、その職責と使命を果たしていかなければならない。

さらには、杜の都仙台の学校教育から全国に情報発信を志すことによって、支援くださった関係各位の信託に応えていかなければならない。

私たちは、ここに、仙台市小学校長会として会員の総力を結集し、左記事項の実現に全力を傾注することを、第六十三回総会の総意をもって宣言する。

記

- 一、被災地域の児童等の就学機会確保と教育諸条件の早急な整備・充実を図り、「校長の思い」の実現に向け、地域とともに立ち上がる創造ある学校の復興に努める。
- 一、震災を踏まえ、人とのかわりを大切にしながら、「仙台自分づくり教育」の一層の推進に努め、学校の力を結集させる。
- 一、新学習指導要領を踏まえ、基礎・基本となる知識や技能を習得させ、これらを活用する力を育成する教育課程の編成・実施に努める。
- 一、校長自らが研鑽し、学校経営の責任者として、教職員の専門性を高め、資質能力の向上に努める。
- 一、子供一人一人を大切に特別支援教育の推進に努める。
- 一、指定都市特有の教育課題の解決及び発信に努める。

平成二十三年四月二十八日

仙台市小学校長会 第六十三回 総会